



三笠だより

舞鶴市立三笠小学校
学校だより

令和3年8月26日発行

<http://mikasa.maizuru.ed.jp/>



よさを輝かせ、安心して力を発揮できる学校に

今年の夏は、お盆前から続く長雨に驚かされました。豪雨によりかけがえのない命を奪われた方々のご冥福と、被災され、コロナ禍とも相まって不自由な生活を余儀なくされている皆様のご健康と一日も早い復興を、心よりお祈り申し上げます。

さて、本校では、コロナ禍の学校の様子や子どもたちがどのような思いで過ごしていたのかを記録に残そうと取組を進めてまいりましたが、このたび冊子「コロナの記録 ～たくましく生きる子どもたち～」が完成いたしました。子どもたちの作文を読み返しますと、コロナ禍で様々な制限がある中でも、前向きに物事をとらえ前進していこうとする素直な思いにあらためて胸が熱くなります。

2年生（現在の3年生）の作文「コロナで思ったこと」の中に、次のような一節があります。「でもわたしがコロナになっても、わたしの友だちはだいじょうぶだよって言ったときはとてもうれしかったです。コロナになっても友だちはだいじょうぶと言ってくれるから、こわいけどあんしんして学校にこれます。」という文章です。

三笠小学校の今年度の学校経営テーマは、「やりがいとつながりのある、大人も子どもも幸せな学校 ～よさが輝き、安心して力を発揮できる学校～」です。先ほど紹介した作文からは、「安心して力を発揮できる学校」の具体的な姿の一端を見た思いがし、嬉しい気持ちになるとともに、三笠っ子たちをととてもいとおしく思いました。不安なことはいろいろとあるけれど、友だちは「だいじょうぶだよ。」と受け止め励ましてくれる、その安心感があるからこそ、自分の力を思う存分発揮し伸びていくことができるのだと思うのです。これは、新型コロナウイルス感染症に限ったことではありません。そして、教師や周りの大人も、子どもに寄り添い安心感を与えられる、そんな存在でありたいと思うのです。

全国的に、新型コロナウイルス感染症の拡大に歯止めがかからない状況が続く、舞鶴市も例外ではありません。9月19日に予定しておりました運動会は、10月9日に延期させていただき、6年生の修学旅行と5年生の野外活動は、昨年度に引き続き、全市的に日帰りでの実施となります。子どもたちにとって楽しみな行事の縮小や中止は残念ではありますが、感染症対策を十分にとりながら、子どもたちの健やかな成長を願い教職員一同気持ちを一つに教育活動を進めてまいります。2学期もご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



校長 小島 みどり
教職員 一同



現在の1年生～6年生と、昨年度6年生だった現在中学校一年生の子
どもたちに配布しました。ご希望の方には、実費の600円でお渡しいた
します。学校までお問い合わせください。
(三笠小学校
TEL 0773-62-0538)

タブレット端末の持ち帰りについて

4月より、個人用タブレット端末の活用を進めてまいりました。2学期途中より家庭へも持ち帰り、少しずつ宿題等でも活用していくこととなります。保護者の皆様には、明日詳細をお知らせする文書を配布しますのでご確認ください。